

### 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

|               |                                 |
|---------------|---------------------------------|
| 事業名           | 「コミュニティデザイン」から考える「まちの幸福論」       |
| 事業主体<br>(連絡先) | 一般社団法人 TUG BOAT                 |
| 事業区分          | 地域協働の推進に関する事業                   |
| 事業タイプ         | ソフト・ハード                         |
| 総事業費          | 1,209,410 円 (うち支援金 : 887,000 円) |

#### 事業内容

対話を通じたコミュニティから住む人にとって幸せな町づくりに繋げる拠点として町で閉館予定だった施設を「信州フューチャーセンター」として立ち上げました。信州フューチャーセンターのオープニングには住民が参加型でリノベーションをしたり、オープニングイベントには60人規模のフューチャーセッションで生まれたアイデアが創発されました。その、アイデアをもとに地元の住民や、企業、学生が集い自発的な活動に対し行政や専門家がサポートできるよう多世代に向けた様々なイベントや講座を開催しました。すでに、住民主体で立ち上がったプロジェクトが生まれ、その代表者はファシリテーターとしての役割を担っています。さらに多くの対話から地域課題が解決する拠点としていきます。



【信州フューチャーセンターオープニングイベントの様子】

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① オープニングイベントにてフューチャーセッションを開催し「辰野町のありたい将来像」のテーマに向き合った。そのアイデアから住民主体の活動が2つ生まれ、月に一度の会議が行われた。
- ② 住民による地域活性化プロジェクトの代表2名がファシリテーターとなってプロジェクトメンバーをまとめ事業が円滑に運んでいる。
- ③ 住民が自分の個性を活かし「食」「わかもの」「防災」などそれぞれの能力を活かした活動が生まれた。

#### 【目標・ねらい】

- ①住民による課題解決への意識の向上のセッションの開催
- ②ファシリテーターを2名養成する
- ③住民が自分の個性や能力を活かすことのできる活動が生まれる

#### ※自己評価【 A 】

#### 【理由】

オープニングや住民から出された「辰野町のありたい将来像」に向けたアイデアから生まれた事業により、自発的な活動に繋がっています。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

信州フューチャーセンターを拠点とし、様々な立場の住民が自発的に活動ができるようサポートし行政や専門家と共に支援していく。本事業で得られた活動を継続させ、住民同士が強みを活かしかい支え合う地域づくりへと繋げていく。町では最大のイベントとなる「ほたる祭り」も住民が県内外からの来町者に向けておもてなしをするプロジェクトを企画中。この様に、住民が主体性をもち実践に繋げる「場」や、地元の商店、事業者が元気になる活動を継続し「自立する地域」の実現を目指していく。